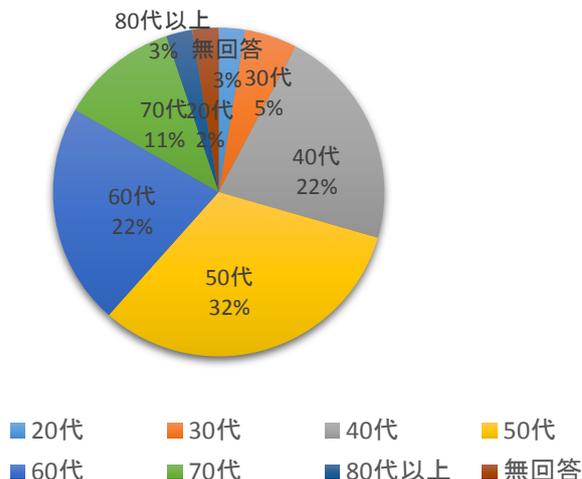
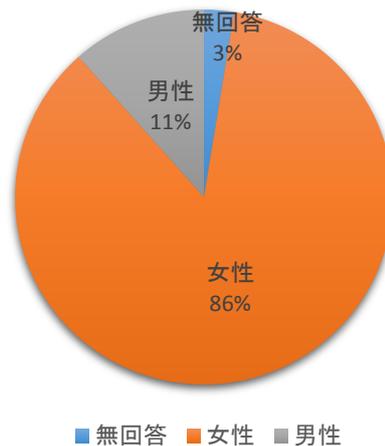


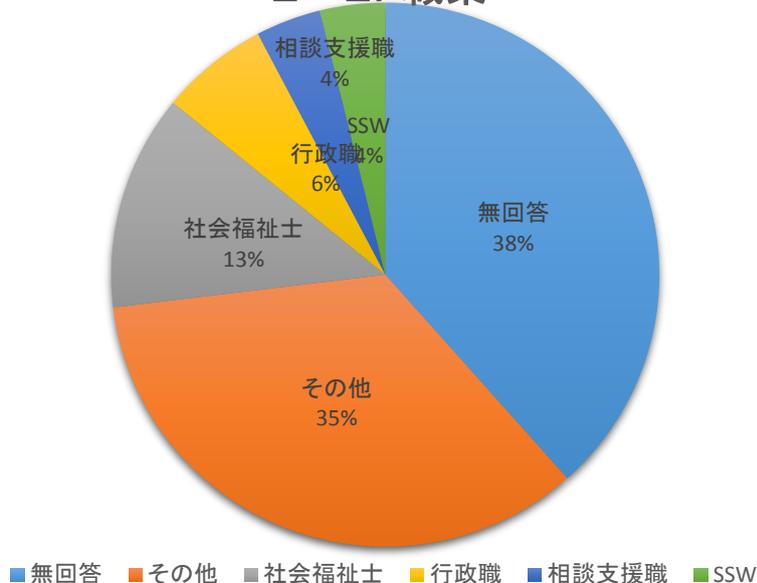
1. 年齢構成



2-1. 性別



2-2. 職業

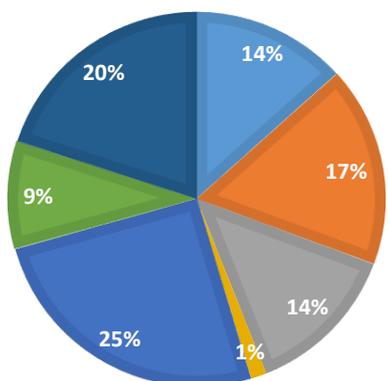


その他35%の内訳:

- ケアマネジャー(2)
- 会社員(2)
- パート(2)
- 無職(2)
- 教員(2)
- NGO職員(1)
- 虐待対策コーディネーター(1)
- 医療従事者(1)
- 団体職員(1)
- 障害児支援(1)
- 塾講師(1)
- 飲食店(1)
- ピアスタッフ(1)
- 保健師(1)
- 児童福祉士(1)
- 言語聴覚士(1)
- 子ども家庭支援センター(1)
- 障害者職業能力開発校(1)
- 福祉関係(1)
- 学生(1)

3. このイベントを何で知ったか

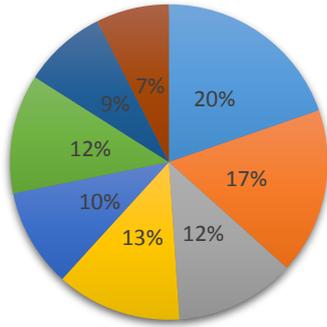
- 主催者(人権問題研究協議会)
- 共催者(矯風会)
- 知人や家族に誘われて
- Twitter
- 後援団体定期行物
- 社会福祉協議会広報
- その他



その他20%の内訳:

- ・ 職能団体ホームページ
- ・ 上智社会福祉専門学校
- ・ 職場(学校)
- ・ 民生児童委員協議会
- ・ 日本ソーシャルワーカー協会のHP
- ・ ネット(こくちーず)
- ・ 他団体講演会でチラシをもらった
- ・ 同業者から夏莉先生の本について伺い、興味を持った為
- ・ 地元公民館orハピナス
- ・ グリーフの仲間より
- ・ 駅前で案内されている方をお見受けして

4. 参加にしようと思った動機

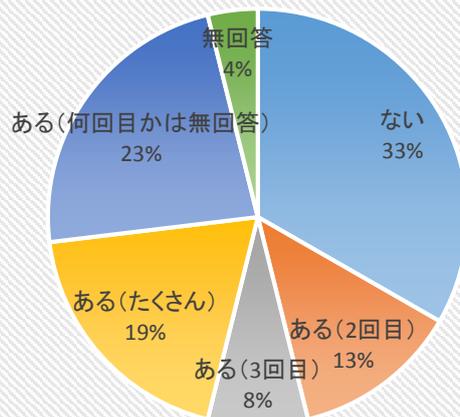


- 児童虐待問題に関心があるから
- 児童への支援内容に関心があるから
- 被虐待児(者)支援に関わっているから
- 障がい者の支援に関わっているから
- 子と親の支援に関わっているから
- カウンセリングや相談業務等に活かしたいから
- 自分にも何かできることがあるのではないかと考えたから
- その他

その他7%の内訳:

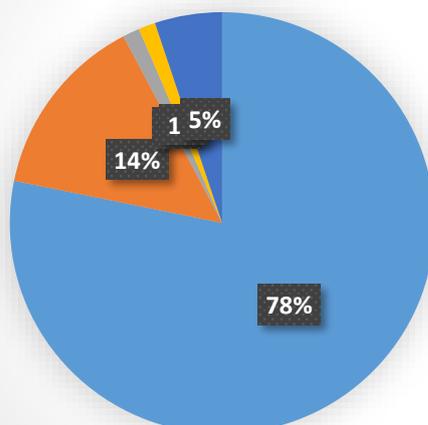
- ・自分自身の回復に役立てたかった
- ・障害児の支援に携わる予定だから
- ・講師のお話を聞きたかったから
- ・大学教員をしていて、学生が精神疾患のある親との関係についての相談が多いから
- ・自身の育った過程
- ・自死遺族として話をきいてみたかった。
- ・自分自身が虐待を受けたから
- ・統合失調症の家族(義母)がいるから
- ・教会に精神障害の方が何人かいるため
- ・自分も世代間連鎖の一部にいるから
- ・自分自身の3人の子供達へ良い影響を与えたいので私の心の整理として

5. 今までに児童虐待に関する講演会やシンポジウムに参加したことがあるか



- ない
- ある(2回目)
- ある(3回目)
- ある(たくさん)
- ある(何回目かは無回答)
- 無回答

6. 講演会はいかがでしたか



- 大変良かった
- 良かった
- 普通
- あまり良くなかった
- 無回答

6.理由・感想

- ・先生の具体的な例を挙げての講演、正直な話、考えさせられました。有難うございました。
- ・色々考えさせられました。
- ・時間の限られた中でたくさん聴けた内容は、すべて尊いものでした。結論を出すことは難しいですね。でも、自分の中で折り合いをつけていくことも、改めて大切だと思いました。
- ・自分自身とても複雑な家族に囲まれて育ったので(統失のおばもあり)、回復の参考になった。やはり、経験者の回復ストーリーを聞くことははげましを受ける。
- ・畑違いの分野で仕事しており、今、つかみきれないことが多いです。ご本を読みながらまた勉強し、視野をひろげていこうと思います。
- ・自分自身何かできることからやっていきたいという思いがあり、特別なことではなく、その子本位でやっていくこと、差しさわりのない支援の重要性を感じた。
- ・私も精神障害のお母さんや発達障害児を見ております。決めつけしないでその人らしく共に生きていきたいと思います。
- ・医療としての話だけでなく、ご自身の経験をふまえた、大変説得力のあるものだった。
- ・何と言ったら良いのか、声も出ません。(大変良かったに○あり)
- ・当事者(困っている子どもさんとその親御さん)のまわりを悩みながらうろろしている支援者として、今日は参加しました。先生の話の伺い、肩の力が抜けました。振り回されつつ、このご家族につきあっていきたいと覚悟ができました。
- ・子ども時代に影響を受けた子供たちがどう育っていくのか、心配なケースを見ながら、一体そういった子達にどういったことができるのか、いつも考えていたのですが、色々なヒントを得られた気がします。
- ・やはり具体的な事例は強いと思いました。
- ・とてもわかりやすい内容でした。
- ・生の声
- ・壮絶な体験を乗り越えて語ってくださったこと、ありがとうございます。今も尚治療を続けている事など、正直にお話下さり、貴重な機会でした。どうぞお元気で働き下されますように。
- ・登壇者の見識が広く、内容が充実していた。また、ご自身が虐待サバイバーであるとは言え、深層心理にまで触れ、心の葛藤や脆弱性をさらけ出し、科学的見地からも自己分析されていた点は、単なる児童虐待の話にとどまらず、感慨深いものがある。
- ・支援にとって重要な当事者の視点と医師(専門家)としての知識・経験があいまった充実した内容であった。
- ・講師のお話をご自身の体験、医学の見地、患者さんに接しての臨床経験、講演を聞いた人からのフィードバックと、多角的な視点から語られていたので、大変説得力があった。
- ・夏苺先生の話は初めてでした。ずっと聞きたいと思っていました。支援者としてではなく、1人の人間として、「個人として」聞きました。私自身、まだ十分には回復してません。支援者の仕事をし続けていいのかわかることも多いですが、心に残る言葉、心に刺さる言葉がたくさんありました。今日受けた、得たものは、書ききれません。
- ・当事者としての話は、そのまま聞く機会は少なく、貴重な話であった。
- ・赤裸々なお話が聞けました。ありがとうございます。
- ・本音の話が心に響きました。
- ・5月に自分の息子が自死し、福祉援助職として、仕事をしていくことがどうなのか、日々辛いときに、今日は救われる想いでした。ありがとうございます。
- ・今まで出会ってきた相談者の顔が何人も浮かんできました。当事者にしか分からない想いを聞くことができ、腑に落ちる事もたくさんありました。今後の対応に活かしていきたいと思います。
- ・児童虐待問題というより、演者の経験話のみだった点が思っていた内容と全く違っていた。
- ・「その状況におかれた」子どもの心の状態に触れ、支援者としてできそうなことをほんの少しイメージできた。
- ・ご自分の辛さをかかえながらも、同じような経験のある子どもへの治療や支援のためにお話しいただけることに感動し、感謝の思いです。「人生の中に不要なものはない。すべてが宝物」という言葉が心に残りました。
- ・深く心に残る講演でした。人生の長い歴史を振り返って、様々な人との出会い、母親とのことを公表され、ご自身の病との付き合い等、今の夏苺さんの姿、考え方をお聞きできたこと、それが本当に貴重なものになりました。
- ・具体的な事例を通じた貴重なお話でした。色々な事を考えさせられました。有難うございました。
- ・私自身も両親との関係に長い間悩んだ経験があり、孫が生まれたことで大分心の中の整理が出来てきたと思います。何かのきっかけが人生の転機になると考えます。
- ・御自身の体験を聞かせて頂き、説得力があり、分かりやすかった。ありがとうございます。
- ・大変な経験を客観的に話され、示唆に富んでいて大変興味深い。というか人との関係についてとても参考になった。
- ・私も機能不全家族で育ち、精神疾患をわずらいました。今は同じ立場の夫と結婚し、子ども2人を育てています。お互い大変な家庭で育ったので、子育てや家庭が大変と感ずることがありますが、人との関わり合い(良い関係)を大切にしたい、地域でのびのびと生活していきたいと思えました。
- ・人が死をおもう時、死の器の目盛りが100になったら決行する、98.99の時に「幸せになりたい」と万が一でも願えたこと、おばから受けた幼児期の愛着など、とても印象的でした。
- ・精神疾患を持つ親を持ち、不登校やネグレクト気味な子どもたちを民生委員として見守る中で、子どもが何を考え、感じているのかが先生の講演を通して分かりました。
- ・善意のある無関心、この言葉は共感。
- ・話が早くついていけなところがあった。講演内容のレジュメがほしかった。ついていけずメモできない所があった。
- ・現実的・具体的で苦しみを乗り越えた人の希望、明るさを感じられた。もっと多くの行政、親、教育者が聞けるとよい。
- ・おばにお世話になったこと、知人にカウンセリングを受けて100万円を請求されたこと、職業支援者が制度により報酬を受けること、同じように当たり前と思った。
- ・生きていく参考になりました。
- ・ご本人の体験からの言葉は真実なので、その言葉を大切に、今後にかきたい。

- ・体験を通して話していただいたので、理解しやすい。
 - ・家族関係を再考する契機になり有益でした。有難うございました。
 - ・子どもの立場を明確に表現してくださったから。専門家でなくても当事者の力になれることを知ったから。
 - ・言葉をなくしました。今後の業務にいかしたいと思いました。
 - ・「生きた言葉」でお話を聞けてよかったです。お母さまがミシンを踏んでいらっしゃる姿が浮かびました。
- 話しづらいたらう内容をお伝えくださり、ありがとうございます。子どもの気持ち少しわかったように思いました。「善意ある無関心」という言葉の重さをしっかりと考えていきたいと思えます。たくさんの方にささるお話があり、また…もっとお聞きしたいと思えました。
- ・大変生々しいご講演でしたが、心にどーンと響きました。人の心は人の言葉や行いで傷つけけれど、人の力で回復する事ができると信じてきた事が更に納得できました。他者の心に寄り添う「善意ある無関心」の深い意味に感じ入りました。
 - ・夏莉先生がお話なさりたいこと、伝えたいことを1時間半で伝えるのは難しいと思った。もっと長い時間聞いてみた
 - ・要支援者との係わりについてのヒントを得た。善意の無関心が、しっくりきました。
 - ・社会から教えられた偏見をどう払うか。個の確立とは何か。永山則男の例はとても良かった。人は変わるもの。
 - ・経験に基づいた現実の中の真理のお話をきくことができました。
 - ・当事者の苦悩もまじえ、適切な助言があった。
 - ・色々な言葉が心にささりました。
 - ・環境に恵まれなかったり、障害があることそのものが不幸せではないと
- ということや、親以外の人との出会いや関りが、回復への力や孤立からの防止になることなど、多くのことを学びました。

7. 児童虐待に関わらず、今後取り上げてほしい内容(テーマ)・講師がございましたらご記入ください

- ・引きこもり、生活困窮になる若者支援について
- ・先生の優しいお声、語り口がとてもよかったです。先生の益々のご活躍とお幸せをお祈りしています。
- ・家族・親族等近い人からの性的虐待被害者における治療グループ(自助グループ)、相談ができたらありがたい。当方、クリスチャンのはしくれですが、「教会」ではなかなか話せないし、話しても「赦し」を強制するばかりで苦しいし、なかなか理解されず、非常に孤独です。
- ・精神障害者・発達障害者といった、障害者雇用の問題について
- ・小林隆児さんも呼ばませんか、発達関係で。
- ・児童虐待問題の中でも、性虐待の被害児の緊急・中長期ケアの現状と回復のためのシステム構築について
- ・精神障害を家族に持った人との関わり方について
- ・発達障害、不登校、若年女性支援、理不尽校則(学校現場、教育について)、子どもたちの人権について
- ・配偶者間のDV
- ・発達障害について
- ・家族関係の苦しさ
- ・マルトリートメント
- ・精神科の現場で働いていらっしゃる先生のお話を伺いたいです。(テーマは不問)
- ・要支援者への寄り添いとは。見守りとは。相談とは。(カウンセラー・医師の視点から)
- ・冤罪事件、死刑制度、マインドコントロール、サイコパス
- ・里親、里子の現実

8. その他、ご意見がございましたらご記入ください

- ・本日参加して良かったです。夏莉先生の話たいへんよかったです。
- ・人の性格は簡単には変わらない。しかし、自殺まで企て、生きる意味を喪失していた登壇者の心が、人との出会いにより変わり、復讐心では幸せになれないと言う言葉が印象的だった。
- ・質問についての注意は必要ですね。個人の相談にもなりやすいですが、そういうことが人への支援につながるのかも思いました。
- ・先生のお話が、私の明日からの仕事に活力を与えてくれました。ありがとうございます。
- ・ありがとうございました。
- ・話を聞いてあげることの大切さを感じた。
- ・言い難い事をカミングアウトする元気をプレゼントされました。仕事上の悩みってあるんですよ。
- ・とても良い内容でした。ありがとうございました。

